



## ホームタウン

「阿南は太平洋に面してるから年中暖かいよ。サーフィンができる海も近いし、時々芸能人も波乗りに来る。関西？近い近い」と当時、



富岡町  
吉積 晶子さん

夫が言ったかどうかろう覚えだが、私はその言葉を信じて、兵庫県西宮市から阿南に嫁いだ。まるでリゾート地に来るような気持ちだった。

それまでずっと関西で育ち、心齋橋で働いていた私にとつて、1時間待ちで自動ドアの自動車や、知らないのに親しげに話しかけてくるおじさんは衝撃的。飲食店の店員呼び出しベルは初めて見た。冬はまあまあ寒いし、関西まで…わりと遠いやん！（泣）

あれから21年、何かに追われることもなく、自然の移り変わりと同じペースで暮らせることがとても心地いい。ローカルな車を待つのも楽しい。近所の人と世間話もできる。呼び出しベルの使い方も分かった。

「都会から来たら、ここは何にもないでしょう」と言われる。でも、季節ごとに移ろう自然は素晴らしく、おいしい水に旬の野菜と魚。家族も人も温かい。

どこにいても世界とつながれる今だから、華やかさやにぎわいより魅力的でぜいたくなものがある。インテリアの仕事を通して、私の目から見える豊かさもつと自慢し、発信していきたい。

ここはもう私のホームタウンとなっている。次は、富岡町の表原立磨さんをお願いします。

## 市民文芸

### 短歌

阿南市文化祭短歌大会選

小畑 定弘  
ここいらに石文在りと思えども  
廃校跡は夏草の中

佐々木夫美  
祈りこめ誰言うもなく「ありがとう」  
一日終わりし安らぎにいて

程野 茂  
犬用の涼感シート敷きやれど小屋に入らず  
二匹は座る

吉谷 富穂  
たった今思ひしことは何なるか  
一瞬忘れて茫然と立つ

青木 弘子  
庭先につゆ草一輪咲き初めて  
小さき秋の水色見つけた

倉橋寿満子  
野分きて稲穂田に伏し手刈りする  
畔の向うに雉の子三羽

近藤 千代  
狭庭辺に育てし花を幸せに繋ぎて  
今日も佛へ供う

### 俳句

阿南市俳句連合会選

喜多 啓吉  
初泳見上げる水面陽の乱舞

初仕事部落総出の道づくり

きのこ茶を賜う嶺寺初詣

初観音灯明の芯明明と

稚あづけ成人式の列に入り

柵飾り守る農家の奥座敷

先達の足跡踏みし雪の坂

三ヶ日籠り縫ひ上ぐキルトかな

葉牡丹の渦に吉相潜むやに

観劇や隣の母と膝毛布

### 川柳

阿南川柳会 高木旬笑選

大鯰と縁を切りたい日本人

気がないと思わせぶりの恋の賭け

女ですいささかの毒抱いてます

一言をかけて介護の愛の匙

モナリザが僕ばかり見る勘違い

繁木 良子

久米 千草

神野 信戒

浜田百合子

中富 範子

岩佐 初枝

吉田 當代

横井 知昭

森 君江

酒本 敏博

佐野 智子

原 公美子

野村 敏子

持木 寿栄